

題目「純。」

きんじゅ

作
梅本
隆平

・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	登		
ハ	シ	無	有	憑	ツ	死	神	佐	冴	日	月	場
ッ	ッ	象	象	神	キ	神	野	山	山	野	山	人
ク	ク				ガ		俊	亮	早	朝	吾	物
					ミ		輔	介	苗	陽	郎	
女	女	男	男	男	女	男	男	男	女	女	男	

まえがき
 人は各々の世界を築いている。物事や概念もまた同様
 に。理解するには自ら足を踏み入れる必要がある。黒船
 文化も思想も違う住人は私を毛嫌いだろう。黒船
 ペリーのの気持ちが少しわかった気がする。
 ほんの少しだけ。
 「初めまして。お邪魔します」
 暖簾を潜るように足を踏み入れればなんとかなるも
 のだろ。低姿勢に相手を立てるように。
 ほんの少しだけ。荒らすのは少し快感だ。

大朝 早くお前も大人になれ
朝陽 そんな大人になりたくないから逃げてるんでし

大朝 よ そんなでは生きていけないぞ

大朝 それなら死んだ方がマシ

大朝 軽々しくその言葉を口にするな
朝陽 言葉に出させたのは大人の方でしょ
大 1 これが最後だ

暗転。

朝陽 月が笑っている。笑うものか。月が泣いている。

泣くものか。月がこっちを見ている。こっちを見
るな。月は嫌いだ。美しさも醜さも全てを映して
しまう。もちろん言い訳も。

第一幕 純。愛の対義語は憎悪ではなく無関心だ。

明点。

舞台中央に椅子が二脚。
月山吾郎と日野朝陽が座っている。

吾朝 今日は何してたの？

吾朝 何も。何してるの？

吾朝 何もしてないわけじゃないじゃん

吾朝 月を見ても出てないよ

吾朝 出てるよ

吾朝 私には見えてるの？

吾朝 知らない？

吾朝 今日満月？

僕も見たいな

朝陽 吾郎 朝陽

見せてあげるとよ
どうやって？
また明日ね

朝陽、去っていく。

吾郎

ズルいよ。何がズルいのか言葉にできないことが
ズルい。そんなことを思っているけどもずっと待ち続
ける自分もズルい。ダメだ考え出すと無限にハマ
ってしまふ。月火水木金土日火水木金土日。ダメ
だ、もう逃げ出せない。これが生きているって
ことか、いや違うな。違わないか？いや違う。そ
うやって月曜日が終わってしまった。今日も満月。
じゃなかった。どうせ明日も違うとわかってる。
でもここで待つと決めたからには待たなきゃ男
が立たない。立たせる必要はないけどね。そう言
っている今もズルいのはわかってる。でも一つ
だけ言わせてほしい、「また明日ね」はズルい。

踏切の音。

吾郎

日野朝陽は大人になる前に死んだ。そんな僕は大人
になっってしまった。

数人の大人が慌てながら舞台に出て来る。

大
2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1

おい人身事故だった
まじかよ、この近く？
すぐ隣の駅
最悪。じゃあ電車止まってんじゃん
飛び込んだのは女子高生だよ
マジかよ
何のマジ？
俺の妹も高校生
お前の妹じゃねーだろ
それは知ってるよ。どうせ今は家で録画したドラ
マの最終回でも見てるよ
タクシー使うか？
一回見に行こうぜ

大人たちが舞台からはけていく。

月山吾郎も後をついていこうとするが気づけば隣に日野朝陽が座っている。

朝陽

今日は何してたの？

朝陽

何もしてないわかないじゃん

朝陽

待ってるの？

朝陽

誰を？

朝陽

君を？

朝陽

今ここにいますけど

朝陽

僕には見えませんよ

朝陽

じゃあ何で話せてるのよ

朝陽

知らないよ

朝陽

だから私はここに待ってるってことだよ

朝陽

それならもう待たなくてもいいよ

朝陽

見えませんから仕方ないでしょ

朝陽

まだ満月の月を見ていないから

朝陽

満月の夜、君は鬼になっちゃったかも

朝陽

隠れ鬼なら得意だよ

朝陽

どっちが鬼？

朝陽

今は僕が鬼

朝陽

なら早く見つけてよ

朝陽

まだ「早く見つけてよ」が聞こえない

朝陽

もういいかい

朝陽

もういいかい

吾郎、朝日を探しに舞台からはけていく。

朝陽の元に死神がやってくる。

死神

ここにいたのかよ見つけるのが上手だね

早苗 吾郎
早苗 吾郎

丸 あな イヤ リングを落しちゃうって、大事なものだ
あ、すみません、下ばかり見ていました

吾郎、隈なく地面を探しているが見つからない。
不意に早苗とぶつかる。

良太 俊輔 良太 俊輔 良太 俊輔 良太 俊輔 良太 俊輔

おおい、どこに落ちてる？
お前も？
当たり前だろ
結婚してたよな
現在形だけだぞ
嫁さん怒られるぞ
鬼嫁から隠れるためだ
見つかつたらこの世の終わりだ
もう俺は終わってるんだこの世も道連れにしてやるよ

美しい女性の冴島早苗が出てくる。早苗も何か探

3人は地面を見る。

俊輔 吾郎 俊輔 良太 吾郎 良太 吾郎 俊輔 吾郎 俊輔 吾郎 良太

隠れてない、落ちてるもんだ
それはどこに隠れてるの
早く冷ませ。冷めればその目も覚めるだろ
そして早く新しい恋でも探せ
頭ではわかつてるんだ、でも頬が熱を帯びている
考えればわかるだろ
どういふこと
見つかつてないってことはそういうことだろ
まだ朝陽ちゃんには亡くなつたんだから忘れろよ
まだ探してるのかよ

早 吾 早 吾 早 吾 早 吾 早 吾
苗 郎 苗 郎 苗 郎 苗 郎 苗 郎 苗 郎 苗 郎

探 っ た ん だ け ど
あ な た の 手 伝 い ま す よ
僕 も 同 じ よ う な も の で す か ？
何 を 失 く さ れ た の で す か ？
一 目 惚 れ の 恋 を
そ れ は 落 と し 文 句 で す か ？
言 葉 を 落 と し た つ も り は ？
私 は 落 ち ま し た け ど
僕 の せ い で す か ？
私 の 不 注 意 で す か ？

良太と俊輔が探しながら舞台からはけて行く。

朝 死 朝 死 朝 死 朝 死 朝 死 朝
陽 神 陽 神 陽 神 陽 神 陽 神 陽

誰 ？ あ の 女
知 り ま せ ん よ
何 者 ？
魔 性 の 女 で す ね
あ ん た も 狩 ら れ ない よ う に 気 を つ け な ね
拾 っ て き て も 落 ち た の ？
好 き に し な さ い よ で す か ？
魔 女 狩 り だ ら ね
あ ん た も 狩 ら れ ない よ う に 気 を つ け な ね

死神、舞台からはける

早 吾 早 吾 朝 吾 朝 吾 早 吾 早 吾
苗 郎 苗 郎 陽 郎 陽 郎 陽 郎 陽 郎 陽 郎

名 前 お 聞 き し て も よ ろ し い で す か ？
月 山 吾 郎 で す
吾 郎 さ ん 、 私 は 冴 島 早 苗 で す 。
誰 も あ ん た の 名 前 聞 い て な い で し ょ
冴 島 さ ん
そ ん な 名 前 忘 れ な さ い
名 前 で 呼 ん で く だ さ い

（出て行った死神に）何してるのよあいつ！ 早

話を切るように自転車で出てくる死神。又
の名をイエナシ。吾郎に自転車でぶつかる。

イエ 言葉のナイーブが突き刺さりました
 イエ 朝陽の娘と話すために出てきたんじゃないの？
 イエ 朝陽 さっきので萎えました
 イエ 朝陽 弱すぎるのでしょ
 イエ 朝陽 結局、僕のものはないね
 イエ 朝陽 恥も外聞もないね
 イエ 朝陽 邪魔なものもは落としましたから
 イエナシ、朝陽を舞台から追いやる。
 吾郎 それなら僕だけでも手伝わせてください
 早苗 お黙り！ 怪しい人だよ
 吾郎 困ってる人がいれば助けなきゃ
 イエ 吾郎 いい人すぎませんか？
 イエ 吾郎 そんなことありませんよ
 イエ 吾郎 そんなことありますよ
 イエ 吾郎 私、帰つてもいいですか
 イエ 吾郎 ほら、こんな人もいますから
 イエ 吾郎 私が悪く映るじゃない
 イエ 吾郎 外見が良いんだから内面は悪くない
 イエ 吾郎 取れないでしょ
 イエ 吾郎 なんのバランス？
 イエ 吾郎 人間のバランス？
 イエ 吾郎 それならあなたにはバランス悪いと思うけど
 イエ 吾郎 ありがたいですよ
 イエ 吾郎 マゾね
 イエ 吾郎 お好きですか？
 イエ 吾郎 嫌いではないです
 イエ 吾郎 また会えればいいですね
 イエ 吾郎 多分会えますよ
 イエ 吾郎 明日は？
 イエ 吾郎 明日はダメ
 イエ 吾郎 どうして？
 イエ 吾郎 予定が立て込んでるの
 イエ 吾郎 ご冗談を
 イエ 吾郎 失礼ね
 イエ 吾郎 気が向いたらまた会いましょう

早苗
それならまた明日
また明日

早苗、舞台からはけて行く

イエ
すみません、取り乱してしまいました

吾郎
大丈夫です、早速探しますか？

イエ
でももうすぐで日が暮れますね、探すのは明日に

吾郎
しますか？

イエ
まだ少し時間が残ってます

吾郎
勿体ないですね

吾郎
明日後悔しないようにもうちょっとだけ探しま

イエ
す

吾郎
手伝いますよ

イエ
あなたは何を探してるんですか？

吾郎
それを思い出すことが出来ないので

吾郎
それなら思い出すことから探しますか

自転車に跨るイエナシ。

イエ
乗りますか？

吾郎
でも自転車に乗ったら

イエ
私は漕ぐことしか出来ませんからあなたは探す

吾郎
ことに専念して下さい

吾郎
僕しか探さないじゃないですか

吾郎、自転車の荷台に跨る。

イエ
行きましよう千年の旅へ

吾郎
死んじゃいます

イエ
遠慮しないで下さい、私は付き合いますよ

吾郎
心強いですね

イエ
死んでからしか見つからないものもありますか

吾郎
ら

イエ
心細いです

吾郎
安心して下さい

イエナシと月山吾郎、自転車ではけて行く。

イエナシと月山吾郎が自転車に乗って出て来る。

イエ　もうすぐで日が暮れますね

吾郎　今夜の月は半分欠けている

イエ　その方がいい、満月は嫌いですから

吾郎　どうしてですか？

イエ　ワガママが増える

吾郎　皆満月に向かって吠えたいんですよ

イエ　あなたもですか？

吾郎　吠えられるなら

イエ　ならもう半分が満ちた時、私もお供しますよ

吾郎　遠吠えは一匹が相場ですけど

イエ　そう言う時は大体後ろにもう一匹いるもんですよ。

吾郎　もうすぐでまた月曜日が終わる。

吾郎とイエナシがはけて行く。

朝陽が出てくる。

朝陽　私はずっとここで待っているのに誰も来ようとしない。誰もこつちを見てくれない。満開の木の葉が枯葉を落とすように私に眼差しを落とす。空気よりも軽い言の葉が空気よりも重たく落ちていく。吸う気もない数奇を吸ってしまい気付けば奇数に。割り切れない気持ち吐き出したつもりでいたのに。

火を纏った妖怪、火達磨が現れる。

達磨　だけどお前は嘘を吐いた。嘘が無ければここに

朝陽　ることでもないだろう。空気より軽い嘘をお前は空

朝陽　気より重たくあいつに吐き出しちまったんだよ。

達磨　だから後悔してると言ってるのよ

朝陽　だから俺がその後悔を燃やしてやるって

朝陽　初耳なんですけど

達磨　初めて言ったかも

達朝 燃えたらどうなるの？
 磨陽 ただ灰になるだけ何もかも忘れてハイになるだ
 達朝 け。そんな怖いことはしたくないわ
 磨陽 怖いことも忘れられるじゃない
 達朝 あの前が忘れてもあいつは忘れない
 磨陽 お前が忘れてもいいつは忘れない
 達朝 どうして言い切れるの？
 磨陽 忘れることより忘れられることの方が怖いんだ
 達朝 ろ？
 磨陽 どうしたら苦しまなくて済むの？
 達朝 苦しみは草を燃やせば古い記憶に戻っていく
 磨陽 なら私を燃やして
 達朝 ほんといんだな？
 磨陽 なんで？
 達朝 最終確認。ほんとにいいんだな？
 磨陽 なんて聞くの？
 達朝 これ俺のため。俺の良心のため。
 磨陽 悪いことだから二度確かめるんでしょ？
 達朝 三度目は早いぞ
 磨陽 いいから早くやって
 達朝 仕方がない
 磨陽 ちよっと待って！
 達朝 方が無理矢理感ない？
 磨陽 世間体を気にしてるんだ。言い方ひとつですぐ炎
 達朝 上するだろ？
 磨陽 栄えが良いじゃん。仕方ないだけ言わせて
 達朝 俺まで燃やすな
 磨陽 見損なつた
 達朝 損なうものは何もない
 磨陽 燃やすなら早く燃やしてくんない？
 達朝 なんか立場逆転してない？
 磨陽 気のせいよ
 達朝 気のせいよ
 磨陽 朝陽の体が燃えていく
 達朝 ちよっと始める時は始めるって言ってよ
 磨陽 わがままだな

朝陽 達磨
朝陽 達磨

どっちがよ
熱くないだろ？

熱くないだろ？
何もかも死ねば忘れる現世の記憶、自分を忘れて
自分も忘れる。そしてまた新しく生まれ変わる。

達磨も火の中へ飛び込み消えていく。

火は舞台中心に集まっていく。
その周りを舞う獅子舞。

死神とツキガミが入ってくる。

死神

あの世の理は断ることを拒む。

死神

暖を取るには熱すぎる
だけども夢を語るには丁度いい熱さ

燃える火がさながら学園祭の後のキャンプファイヤーに見えてくる。

死神

この火が消えれば全てが終わるね

死神

明日からは受験勉強？

死神

大学には行かずに就職するよ

死神

君は進学するの？

獅子舞が死神の頭に噛み付く。

中央の火が消える。

死神

私たちには夢のまた夢ね
(獅子舞に)早く退いてもらっていいかな

獅子舞の中から火達磨が出て来る。

達磨

あれ、もう終わった？

早苗 相反するものはふとした瞬間混ざり合うもので

吾郎

す

早苗 水と油だったら？

吾郎 どうしたら私は水です

早苗 油は嫌いです

いつの間にか月が登っていた。

早苗 吾郎さんはドラマお好きですか？

吾郎 あんまり見ないかな

早苗 私も好きだけど見ないです。

吾郎 最終回に向かって進むのが嫌いなんです

自転車に乗って舞台に出て来る死神と荷台に乗っている日野朝陽。

死神 月が登ってるぞ

朝陽 どれ？

死神 あれだよ

朝陽 よく見えない

死神 目を擦れ

朝陽 擦っても見えないんだけど

死神 なら目を見開け

朝陽 見開いても無理よ

死神 教えたらん

朝陽 見えないやつに教えるも無駄だ

死神 見えないから言ってるの

朝陽 月なんて見えてなんぼだろ

死神 月はないの

朝陽 月は人の感情を動かして初めて月になる

死神 どういう意味？

朝陽 見えなきや意味ないってこと

死神と日野朝陽、自転車に乗って舞台からはけていく。

朝陽 吾郎 朝陽 吾郎 朝陽 吾郎 朝陽 吾郎 朝陽 吾郎 朝陽 吾郎

私、ど、死んだのよ
自分勝ちだね
別に勝手だろ
なにで泣いてないのよ
泣いてるの？
泣いてるの？
乾くよりマシだよ
濡れちゃうじゃない
傘は要らないの？
傘に入らないの？
朝陽だけが傘をさしている。

吾郎と朝陽、並んで座っている。

舞台中央に桜の木。

明点。

雨の降り注ぐ音が聞こえてくる。

第二幕

純。情に取り憑く不純物の名は矛盾

憑神 ツキ神 ツキ神 ツキ神 ツキ神 ツキ神 ツキ神

暗転。

早く局ツキね（キツネ）
結局ツキね（キツネ）
なんからズレてる気がするけど
なんか月が色々関係してるってことはわかって
どうして？ 人間の取り憑こうかな
月が付く名の人に取り憑こうかな
捨くれている。次は誰なの？
褒め言葉として受け取っておくよ
卑しいね
全く凝らない？
懲りないの？
全く飽きない

吾朝吾朝吾朝吾朝吾朝吾朝吾朝
郎陽郎陽郎陽郎陽郎陽郎陽

僕気何わどまたまじ明も明ホまたも
にはづかかかうたまたじゃ日う日ンたう
はいた可からして明明日あは来ない後？
わからし笑い笑った？
らない笑った？
いた？
けど

吾亮吾亮吾亮
郎介郎介郎介

亮介、はけて行く。
ちよ整理しなくて良いからちゃん
と葬式には来い
もう帰るぞと待って
もう帰るぞと待って
おくよ
ちゃん
と葬式には来い

吾朝吾朝吾朝吾朝吾朝吾朝吾朝
郎陽郎陽郎陽郎陽郎陽郎陽

傘をさした佐山亮介が出て来る。
忘れられなかつた？
ズルいよ
もう忘れた？
どうして？
もだ月は出ないよ
気がづいてないか？
こっちのセリフ？
元気にやってる？
どうも？
知ってる？
うちの暮らしはどう？

朝陽 わからなからわかつてもわからなかつ

吾郎 おかしなこと言うね

朝陽 また明日ね

吾郎 吾郎、朝陽を残して舞台からはける。

傘をさした朝陽が独り取り残される。

吾郎と入れ違いで死神が入って来る。

吾郎と同じ場所に座る死神。

僕も入れていただいてよろしいですか？

一つの傘に二人で入る。

何しに来たの？

朝陽 雨が降って来たから会いに来ました

朝陽 理由になつてるの？

朝陽 それならあなたが寂しがって来たから会いに来

朝陽 後付けね

朝陽 大体理由なんて後付けでしょ

朝陽 私は寂しくしてないけど

朝陽 この傘が寂しくしてました。傘は元来二人よう

朝陽 です。から。

朝陽 狭いんだけど

朝陽 隙間があるより良くないですか

朝陽 なんであんたがその隙間に入つて来るのよ

朝陽 隙間に入つて行くのが死神の役割ですから

朝陽 死神は何が出来るの？

朝陽 使えないね

朝陽 酷いですよ

朝陽 名前負けしてるよ

朝陽 死神もただの人間ですから

朝陽 偶像の世界なら何でもできるんじゃないの？

朝陽 結局、人間の想像は現実で起こり得ることしかあ

朝陽 りませんから

されないなら目を瞑り、瞼の裏であの人を見つかる。現実から目を瞑ったのではない、先に瞑ったのは現実の方だ。でもどうしてだろう、幻想であるのを見つけても、見つめた先が滲んで見えなくなるのは。溢れた感情があなたを濁らしていく。現実には零れた感情は雨と違って少ししよっぱいのはどうして。もつと前に気づいていればこの感情をあの人と共有できていたのに。

憑神が桜の木から出て来る。

憑神 何か探し物でも？
早苗 あなたにそっくりな人よ。もうこの世にはいない

憑神 けどう亡くなっているのですね

早苗 三年前にね

憑神 ずいぶん前じゃないですか

早苗 たったの前よ

憑神 寂しいですか？

早苗 穴埋めなんて出来なかった

憑神 もういいの毒に

早苗 (諦めは)体に毒ですよ

憑神 時には毒も必要でしょ

憑神 憑神、懐から徳利とお猪口を出す。

早苗 一杯やりませんか？ 毒には毒を、諦めは忘れる

憑神 私を酔わせてくれるの？

早苗 あなたがその気なら

憑神 桜の木の下でお酒を交わす憑神と冴島早苗。

早苗 お酒は強いですか？

憑神 後悔の分ね

憑神 早苗、一気にお酒を飲み干す。

憑神 それは頼もしい豪快な飲みっぷりだ

憑神もつられて一気にお酒を飲み干す。

憑神 ところであなは何に後悔しているのですか？

早苗 自分も酔っていたことよ

憑神 酒も飲まずに酔えるなんて羨ましい

早苗 皮肉ね

憑神 卑屈にならないうでください

早苗 退屈だったのよ

憑神 何がですか？

早苗 どうして？

憑神 何も残らないから

早苗 それはいいけないです

憑神 それはいけないから

早苗 それはいけないから

憑神 この木がいけない

早苗 この木が思っていました

憑神 このキが無くなればそのキが無ければ私も振り

早苗 回されることはなかったのよ

憑神 早苗、桜の木を左右に揺すって倒そうとする。

早苗 いくらか酔ってるからといって倒しちゃまずいで

憑神 すよ

早苗 どうして

憑神 桜の木ですよ

早苗 だからよ

憑神 尚更まずい

早苗 ホントに死体が埋まっているか確かめるだけよ

憑神 早苗、勢いよく桜の木を倒してしまふ。

早苗 そこには月山吾郎が眠っていた。

憑神 急に舞台が暗転する。

早苗 舞台から全てが消える。

懐中電灯の明かりが舞台を照らす。
暗闇の中、有象と無象がやって来る。

無象　おい真っ暗じゃねーかよ！

有象　停電だよ何だ？

無象　何も見えなくなるよ！

有象　おい停電じゃねーかよ！

無象　なんか怖くなってきたね

有象　俺停電初めてだから

無象　俺停電初めてだから

有象　はしゃいで消すなよ

無象　無くさねーよ

有象、力を振り絞り舞台に光を作る。

有象　案外大変な作業だ

無象　さす有象様だ、こんなに光が尊いなんてことを

有象　もつと俺を敬え

無象　ありがたや

急な暗転。
テンションが上がった無象が光を無くしてしま

有象　おい

無象　敬つたら消しちゃった

有象　どんな構造してんだよ

無象　どっか怖くなってきた

有象　おい

無象　おい

有象　おい

死無死無死無死
神象神象神象神

質簡人原停何や
問単間因電をら
ばににがの？れ
かり倒倒わかた
すれされたのよ
なもんなの？

死神が入って来る。

有無有無有無有
象象象象象象象

バ今だ三何好何知
カもか回の奇言れ
といしから目？心
るとる教はど勝ん
何じゃたどうっの
回目んろなるらま
でも三回目はうっ
イライライイラす
るんだよ

無有無有無有無有
象象象象象象象象

え？なあ滅滅話じ俺どわど太ど無無ほ
？あ茶茶聞やだっつかう陽れくくんと
か有苦茶茶聞いあろちんいうとれくすす
象、茶茶聞いたどがねえこぐら？方ごと
光く聞いたかち太陽？とら？が簡より
消し、耳が馬鹿になるか？月？大業だ
？もいいか？た。これは俺の性かも

有無
象象

有象、力を振り絞り舞台に光を作る。
早く光を付けてくれよ。俺は三回目だから怖いよりイライラが勝っている。

死無死有無死
神象神象神

お前な！俺じゃねーよ
四回目は何も感じない
次は無いつて言ったよな！
言われてねーよ、てか俺じゃないから！
じゃあ誰だよ

暗転する。

無象

やっぱり全然違う

無象が有象の手相を再びみる。

有無死無
象象神象

大体同じだけど
思想も手相も大体は同じなんだよ。少し線が多か
ったり考えていることが多かったりするだけ
なるほどね
チヨロいな

無象と有象が手相を見せ合う。

死無死有無有死有死無
神象神象象神象神象

俺が今作ってるから大丈夫でしょ
有象のは予備電力だから嫌だな
予備って言われるとなんかヤバイよ
今、有象も気が狂ってるからヤバイよ
お前のせいであつて光を作り過ぎたから
仲良くやつてくれ、それだけだ
俺たち思想が違うからそれも無理だよ
手相を見てみるお互いの

死無死無死無死無
神象神象神象神象

じゃあ気がなること言わないでくれよ
その木が倒されたんだよ
聞いたよ？
三秒前に
人間の気狂いにこの木が負けちゃった
ヤバイじゃん
ヤバイよ。ヤバイことよ。だからヤバイことなの
よ。

無象

あれ、なんかイライラしてきた。

有象と無象、死神がはけて行く。

明点。

舞台中央に桜の木が倒れている。

その周りにいる冴島早苗と憑神。

やっちまったな

今、吾郎さんがいた気が

気のせいだよ

気は確かだよ

どうする？
誰に謝れば良いのよ

早憑早憑早憑早憑
苗神苗神苗神苗神

別に謝れなくて言っただけだよ

舞台に作業道具を持ったシックとハックが出て来る。

俺は理解したぞ？

勝手にしないぞ

お前たちが派遣されたんだろ？

お前たちが派遣されたのよ

知り合い？

同僚だし

シ憑早ハ憑シ憑ハ
ツ神苗ツ神ツ神ツ

一緒にしないで

シックとハックが桜の木の修復に取り掛かる。

ホント面倒臭いんだけど誰がやったのよ

秒で人を売らないでよ

ホント殺すよ？

秒で買ったな

秒で買ったな

早憑シ早憑シ
苗神ツ苗神ツ

ごめんなさい

シ 憑 シ 憑 ハ 憑 シ 憑 ハ
ツ 神 ツ 神 ツ 神 ツ 神 ツ 神 ツ

少しは責任持ちなさいよ
それが一番重たいんだよ
だから背負いなさいよ
代わりに背負って来ないか？
代わりのパシリじゃないから？
あんな置いていくしかない
じゃあどのよ
邪魔なよ
じゃあどつかに捨ててくれ、俺は手ぶらで出かけ
るのが好きなの
責任逃れはやめて
いいこと言つた
ならその責任とやらをここに埋めちまったらいい
いだろ

ハ 憑 シ 憑 ハ
ツ 神 ツ 神 ツ

憑神、責任という無形物質を桜の木の下に埋める。

責任轉換ね
この木には良い添加物だ
木が枯れないといけど
そんなやわな木じゃねーだろ

立ち直ったはずの桜の木が再び倒れる。
中から眠った月山吾郎が出てくる。

シ 憑 ハ 憑
ツ 神 ツ 神 ツ

やわい木だったね
そんな木から誰か出てきたけど
弱気者だ？
死んでる？

吾郎の脈拍を測るハック。

ハ 憑 シ 憑
ツ 神 ツ 神 ツ

生きてるよ
わかったよ責任取るよ
なにか悪巧みしてない？
そのキのせいだ？
何しようとしてるの？
こいつに憑いて責任取る
この子をどうしようって
弱気者を歌舞伎者に
そんな滅茶苦茶な
変えるって言うの
言ったら？

死神 得意なはずだったんだけどなんか自信無くして
 きた どうせ帰って来るでしょ
 逃げ場がないのに逃げるのが一番怖くない？
 逃げられないとわかってるんだぞ？ 何か企ん
 でるとしか思えん
 心当たりは？
 無きにしも非ず
 早く言っつて
 月を壊すつて言つてた
 馬鹿らしい
 俺もそう思ったんだけど行動するような馬鹿だ
 とは思えなかった
 つくづくお人好しね
 褒め言葉？
 同情よ
 探すの手伝ってくんない？
 どうせ帰って来るでしょ
 帰つて来なかつたら？
 その時は私が見つけてあげる
 相変わらずいい女だな
 褒め言葉？
 素直に受け取ってくれ
 そりゃどうも
 とりあえず探していくから
 もうすぐ日が暮れるけど
 俺は夜行性だ
 知らないけど
 行く宛がない
 もうギブ？
 流石にね？
 死神とツキガミ舞台からはける。
 有象が舞台に入ってくる。
 後から日野朝陽も舞台に出て来る。
 有象
 こんな時間にお出かけですか？

有無有無有無有無
象象象象象象象象

ここでも何もないけどよ
嘘つけないけどよ
強いて言うならゆっくり本を読める場所を探し
ていた
ここのじゃ暗くて読めないだろ
月明かりがちようどいいんだよ
目が悪くなるぞ
何も見ようとしなよりマシだ
それか見えたのか？
独りの不良少女が家を出をした
とめてあげろよ
それは俺の仕事じゃない
シツクが舞台に出て来る。

朝有朝有朝有朝
陽象陽象陽象陽象
有象有象有象有象

こんな時間だからよ
不良少女です
門限は破るためにあるんでしょ
お父さんが泣きますよ
大丈夫、もう泣いてるから
親不孝です
今更言わないでくれるですか？
どこに向かっているんですか？
秘密の場所ですか
秘密の場所ですか
私を止めないでね
別にあなたがどこに行こうが私には関係ありませんよ
せよ
それはそれで冷たいね
どっちですか
どっちもどっちよ
欲しがりです
星狩りよ
満たされるといいですね
大丈夫、今夜は満月だから

無象が出て来る。
逃げようには日野朝陽が舞台からはけていく。

シッ
 憑神 だれ！
 吾郎 朝陽ちゃん？
 憑神 あさひちゃん？
 シッ ハックは？
 憑神 違ったみたい？
 朝陽 勝手だろ？
 シッ 勝手だろ？
 朝陽 せつかくこまで来たのに
 シッ ハックは？
 朝陽 知らないよ
 シッ じゃあその格好は何
 朝陽 貸してもらったのよ
 シッ また怒られるぞ
 憑神 最悪
 朝陽 用がないなら向こう行ってもらえん？
 シッ この状況で行けるわけないだろ
 憑神 確か二人つきりにしてもらってもいいかな
 吾郎 感動の再会ってやつなら今だけ目を瞑ってやる
 シッ よ
 憑神 いの？
 シッ 純粋な再会に無粋なことは出来ないでしょ
 憑神 たまにはいいこと言うね
 シッ ストックしてるからね
 憑神 幻滅
 吾郎 二人つきりになる月山吾郎と日野朝陽。
 朝陽 朝陽が吾郎にゆっくり近づいていく。
 吾郎 謝ることなんて何も無いよ

朝陽 吾郎 朝陽 吾郎 朝陽 吾郎

自分勝手でごめん
何を言ってるの？
一緒に来て欲しい
どこに？
月が一番大きく見えるあの丘
どうやって？

朝陽が懐から懐剣を取り出して吾郎の胸元に懐
剣を刺す。

吾郎 朝陽 吾郎

どうして？
どうして避けなかったの？
わかんないけどわかんないなりにわかんなかった
た

その場に倒れ込む月山吾郎

憑神とシツクが舞台に戻ってくる。

シツク 憑神

今大きな音がしたけど、って嘘!?

朝陽、倒れた吾郎を抱き抱えて舞台からはけて行く。

シツク 憑神 憑神

逃げたい、理解が追いつかない
純愛って何？ 純粋って何？
私たちの方がよっぽどそうだったのかも

暗転。

第三幕 純。文学に月は付き物

舞台が会議室のよう仕込まれている。
そこにいるのは死神、有象、無象、シツク、ハツクと憑神。

日野朝陽が月山吾郎を引きずって出てくる。
二人のことは誰も気づかない。

朝陽 想像以上に重いんですけど
もう起きるけど
早く言いなさいよ

朝陽は手を離し、吾郎が起き上がる。

朝陽 やつと僕も死んだってことね
やつと、つてやめてよ死にたかったみたいじゃな

朝陽 色々あったから
大変だった？
ちよつとね
今から起こることも大変だと思うけど大丈夫？
何が起こるの？
私が起こすの？
大変なことを？

朝陽 それは大変なことだね
しんけんに聞いてる？
もしんけん
もちろん

朝陽 私は真剣よ
それは僕は死んだからね
恨んでる？

朝陽 信じてよかっただけ？
君なら恨まないよ
恨んでる？
これからはどうするの？
まじはツギガミっていう人に会いに行く
どこにいるの？

朝陽 月にいる？
月兎みたいな？
白と杵は持っていないけどね
嘘か誠か

朝陽 会って見ればわかるよ

月山吾郎と日野朝陽がはけていく。

会議場に戻る。

憑神 日野朝陽はどうなった
死神 忘れてた
無象 ツキガミは来ないの？
死神 今宵は十五夜だ、あいつも忙しい
有象 私たちもここにいる場合じゃないですね

急いで会議室を片付けて全員舞台からはけて行く。

日野朝陽と月山吾郎が出てくる。

吾郎 どうして月なんか壊すの？
朝陽 月が無ければ私はここにいないからよ
吾郎 それが答え？
朝陽 間違ってる？
吾郎 まだ分からない
朝陽 なら間違ってるからその時は私を止めて
吾郎 そのために僕がここにいてるんだね
朝陽 月が無ければ私たちが出会ってなかったのかも
吾郎 それなら壊さないほうがいいんじゃない
朝陽 もう出会ったからいいのよ

月が舞台に昇る。
ツキガミが絢爛な衣装に身を包み舞台に出てくる。

朝陽と吾郎はツキガミに気づかない。

ツキ 月を見ると思い出す。そんなきっかけを大事にしていたがもう思い出すことも無くなってきた。

ツキガミ、腰掛けて和紙に文章を書き連ねる。

ツキ 月を見ると心が和らぐ。そんな風情を大事にしてきたが臆病な人間には必要なかったみたいだ

朝陽と吾郎がツキガミの元へ来る。

朝陽 朝陽 朝陽 朝陽 朝陽 朝陽
ツキ ツキ ツキ ツキ ツキ
どうしてそう言い切れる？
誰も幻想を見ないのよ
そしたら何が暗闇を照らす？
照らす必要はない
そしたら闇に呑み込まれて終わり
終わればいいのよ
自分勝手ね
好きな生き方で勝手に死ねばいいのよ

有象と無象が舞台に出て来る。

無象 有象
どっちでもいいんだよ
よくはない、どっちでもいいがどっちかに決める
必要がある

無象 有象
どんな必要がある

無象 有象
私の気分だ

無象 有象
気分が必要を語るな

無象 有象
気分屋の必要なことは言い切ることだ

無象 有象
気分が変わるのか？

無象 有象
対象が変わればその都度また言い切ればいいだ

無象 有象
ろ

無象 有象
切られた方のことをもつと気にしろ

無象 有象
キリがないキリキリ舞いだ

無象 有象
なら無関心が一番手っ取り早いな

無象 有象
関わりぬ人に語りなし

無象 有象
どういう意味だ？

無象 有象
人と関わりなければ何も起きないってこと

無象 有象
それは面白くないな

無象 有象
でもそれが今は良いんだろ、本音が言えない時代

無象 有象
だ
退屈で死にそうだ、生まれ変わりたくねえ

有象と無象がはける。

入れ違いで冴島早苗が出てくる。
月を眺めながら早苗が皿に盛られた餅を食べて
いる。

朝陽
月を壊して私も生まれ変わる

朝陽 ツキ

理屈に対抗できるのは屁理屈だけでしょ
早くお前も大人になれ
よ。なんか同じようなことを繰り返している気が

日野朝陽がその場に倒れる。
駆けつける月山吾郎。

ツキ 吾郎

土曜（土用）日が終わる。季節が変わる

ツキ 吾郎

そんなことだ。だっていいだろ

ツキ 吾郎

必要なことだ。心配をしてくれよ

ツキ 吾郎

助かった。安堵か？

ツキ 吾郎

アンドそれは必然だ

ツキ 吾郎

馬と鹿の方がよっぽど人間より賢いよ

ツキ 吾郎

登っていた月が沈んでいく。

ツキ

お前たちは沈んでいく月を見たことないだろ。登る月しか見ずに想像もしたことないだろ。

シックとハックが眠っている日野朝陽を連れていく。

吾郎

どこに連れていく

シツ

至極当然の場所

吾郎

僕も一緒に行くけどそれでも行く？

ハツ

構うものか

ハツ

口だけやろうは目を瞑っておきな

暗転。

ツキ

生まれ変わればまた出逢うだろう、初めての時
びたく。そしてまた再会（再開）しよう、その時再
び気づくだろう、鬼ごっこに鬼が必要なように。

吾朝吾朝吾朝
郎陽郎陽郎陽

月がキレイ
落ちてきそうだね
もう落ちたよ
じゃあ曜日にも
また月曜日にも
その繰り返しだよ

日野朝陽も一緒に倒れ込む。

吾朝吾朝吾朝吾朝
郎陽郎陽郎陽郎陽

寝た？
泣いた？
また泣いた？
笑った？
まだ泣いた？
じゃあなにしているの？
月を見ている。

月山吾郎、その場に倒れ込む。

吾朝吾朝吾朝吾朝吾朝吾朝吾朝
郎陽郎陽郎陽郎陽郎陽郎陽郎陽

変な夢を見ていた気がする
どんな夢？
覚えてない？
嘘付かないで
話したら現実になりそうなの
話してよ
もう忘れるよ
それなら忘れないで
どうして？
起きた時にまたその夢の話聞かせて
一生起きないかも
それでもいいじゃん
早く忘れるためにもう一回寝るよ

舞台中央で並んで座っている日野朝陽と月山吾郎。

ツキガミとシツク、ハツクは舞台からはけている。

明点。

朝陽 じゃあまた明日ね
吾郎 また明日

二人が消えてその場所に一冊の本が残る。
舞台に出て来る死神、その本を手に取り読む。

死神 複数の糸は複数の意思で動く。絡まる糸に規律はなく、己の本能だけで纏れていく。連なる糸は次第に纏まり大きくなるがそれを塵だと言って捨てるのは勿体無い。だからその糸で物語を紡ぐ。紡いだ糸の結末も知らずただ純粹に。生と死も纏まり二人の純（きいと）があこの世この世を照らす月と成ることを願って。

本を閉じる死神の元にツキガミがやって来る。

ツキ 何読んでたの？
死神 青春聖書な純文学だよ

終幕